

選考基準（実証事業）

項目	選考の視点		配点
業務実施面	①実施体制	提案内容を実施できる組織・人員が確保されているか。	5
		提案を適正に実施できるスケジュールとなっているか。	5
	②実施方針	本業務の趣旨・内容を十分理解した上で実施方針が立てられているか。	10
		本市が策定した「プラスチック削減指針」の Action1 および Action2 の内容に沿ったものであるか。 もしくは、食品ロスの削減につながる購買行動・販売行動等への転換及び定着を図れるものであるか。	10
企画提案面	③提案内容の的確性	使い捨てプラスチックまたは食品ロスの削減およびごみの減量について効果を期待できるか。	10
		より多くの市民の具体的な行動変容を期待できるか。	10
		モデル事業の将来的な広がりが期待できるか。	10
	④提案内容の先進性	提案内容が市民にとって継続して利用しやすく、魅力的であるか。	10
		提案内容に独自性や先進性があり、新たな視点からの工夫があるか。	10
	⑤提案内容の実現性	提案内容が具体的で実現性があり、費用の積算が適切か。	10
		モデル事業に対する効果測定内容や方法が明確になっているか。	10
合 計			100

提案者の順位の決定方法

- 評価委員は上記の選考基準に従って企画提案の採点を行い、その結果に基づき企画提案の順位を付ける。各評価委員が付けた順位の合計が小さい値となった提案者から順に契約候補者とする。なお、各評価委員の採点の合計で 150 点を最低基準点とし、それ以上の点数を得た提案者の中から契約候補者を決定する。
- 点数が同点となった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - 評価項目③の点数が高い者を上位とする。
 - (1) も同点の場合は、評価項目④の点数の高い者を上位とする。
 - (2) も同点の場合は、再度各評価委員から意見を聞き、順位を決定する。

選考基準（実装化支援）

項目	選考の視点		配点
業務実施面	①実施体制	提案内容を実施できる組織・人員が確保されているか。	5
		提案を適正に実施できるスケジュールとなっているか。	5
	②実施方針	本業務の趣旨・内容を十分理解した上で実施方針が立てられているか。	5
		本市が策定した「プラスチック削減指針」の Action1 および Action2 の内容に沿ったものであるか。	5
企画提案面	③提案内容の的確性	使い捨てプラスチックの削減およびごみの減量について効果を期待できるか。	10
		より多くの市民の具体的な行動変容を期待できるか。	10
		◎実証事業の成果を踏まえた事業計画になっているか。	15
	④提案内容の先進性	提案内容が市民にとって継続して利用しやすく、魅力的であるか。	5
		◎昨年度実施した内容に加え、実装化に向けた新たな視点からの工夫があるか。	20
	⑤提案内容の実現性	提案内容が具体的で実現性があり、費用の積算が適切か。	5
		◎実装化に対する効果測定内容や方法が明確になっているか。	15
合 計			100

提案者の順位の決定方法

1 順位決定の方法

評価委員は上記の選考基準に従って企画提案の採点を行い、その結果に基づき企画提案の順位を付ける。各評価委員が付けた順位の合計が小さい値となった提案者から順に契約候補者とする。

2 最低基準点の設定

各評価委員の採点の合計で 150 点を最低基準点とし、それ以上の点数を得た提案者の中から契約候補者を決定する。ただし、◎印の項目の点数の合計が 75 点以下であった場合は実装化に向けた提案が十分にできていないものとして選定しない。